

# 「秋田商工会議所経営発達支援計画外部評価委員会」開催報告

1. 目的 平成28年4月22日に経済産業大臣の認定を受けて実施した経営発達支援計画に対して、実施状況及び成果について、評価・検証を行うため、外部評価委員を5名委嘱し、外部評委員会を開催した。
2. 日時 2020年2月3日（月）13：30～15：00
3. 場所 秋田商工会議所1階 会議室
4. 委員構成団体 秋田市商工貿易振興課、秋田県よろず支援拠点、日本政策金融公庫秋田支店 国民生活事業、秋田県信用保証協会経営支援部、秋田商工会議所
5. 内容
  - (1) 委嘱状交付・出席者紹介
  - (2) 経営発達支援計画外部評価委員会設置規則について
  - (3) 経営発達支援計画の内容について
  - (4) 2019年度の実績見込と2020年度の目標について
  - (5) 第2期経営発達支援計画の策定および申請について
6. 2019年度実績見込値
  - ・実施項目数：61項目
  - ・目標達成見込数：28項目
  - ・達成率：45.9%（平成30年度52.4%）
7. 委員からの実績見込等に対する意見
  - ・取組を取捨選択し、項目を絞り質の高い取組に集約しなければ成果が実感できず、経営指導員のモチベーションも上がらない。実情に即し、地域の経済動向を把握しながら、各年度で集中して実施する取組を戦略的に考える必要がある。
  - ・経済効果を評価指標の一つとするのも良いと感じる。また、重要なのは実施回数ではなく、支援結果による成果である。
  - ・人口減など状況の変化に対応して計画項目を加減するなどメリハリが必要であり、計画修正が不可能ならば、内部的な目標設定をしても良いのではないか。
  - ・数値目標を達成した項目の達成率で評価するのではなく、第2期計画においては、項目ごとに目標の達成度（満足度）をランク評価するなど、商工会議所として注力した取組みが分かる評価方法に代えてはどうか。
  - ・第1期計画では、実態に則さない高い目標設定を課せられた項目もあるが、第2期計画においては、実態を踏まえる一方、例え未達であっても会員目線で必要な目標設定にすべきである。